

令和4年度 第1回政策推進会議報告

日 時 4月5日 9時30分～10時00分

場 所 WEB会議室

出席者 18人

1 第6次尼崎市総合計画（素案）に対する市民意見公募手続の結果について

総合政策局長から資料に基づき報告。（以下、質疑等）

- ・（市長）実際に施策評価を始めるともう少しこうしていればということが出てくるかもしれないが、大きな齟齬がなければ、内容も大詰めになってきたと思う。パブコメ結果を報告してもらったが、施策レベル、事務事業レベルでまたしっかり参考にして取り組んでいくべきというご意見を各分野でいただいたので、また各局でしっかりと対応し、今後の政策立案に繋げていただきたい。

ご意見のうち、タバコの関係では厳しいご意見が出ていたが、タバコはマナーという観点のほか、健康支援という観点からも主要取組に位置づけられているので、今年度は状況の分析と今後の方針を決め、来年度からは体制整備も含めて、次の総計の大きな目玉になるかと思っているので、よろしく願いたい。

意見を反映したのが4ページのNo. 5、図書サービスに対するご意見で、どうしても図書館が教育委員会所管ということで修正前の施策の展開方法がやや縦割りの記載になっていたが、生涯学習プラザとの連携や、学校にも司書を配置するなど、取組を進めていっているところなので、もっと幅広い意味での図書サービス、本を通じたいろんな取組を全庁的に進めていくべきだということで、良いご意見をいただけたと思っている。

6月議会で提案していく予定ということで佳境に入っており、今年度の施策評価はもう新しい施策体系で、先取りして実施していく予定にしているが、その中で修正が必要な点が出てくる場合はギリギリまで反映させていきたいと思う。引き継ぎの業務にも生かす形で、施策評価をしっかり活用していただければと思っているので、重ねてよろしく願いたい。

2 その他

○総合政策局長から、ブランドブック2の配布開始について説明。（以下、質疑等）

- ・（市長）今回は若者に少しフォーカスしてということで、皆さんもぜひご覧いただきたい。すごく元気が出るというか、尼崎の未来が楽しみだなという感じを共有していただければと思うので、また折に触れ、発行部数も増やしてもらっているので、どんどんご活用いただきたい。
- ・（森山副市長）第2弾は活躍する若者にフィーチャーしているが、実はブランドブックに出てきていない方もたくさんの方がまちでは活躍していると思う。ブランドブックそのものはこれで固定したもののだが、ここには載っていないけど実は各局が知っている、こういう活躍をしているといったことがあれば、数珠繋ぎみたいに紹介していけたらと思うが、今後の展開として可能か。

- ・(総合政策局長) 結論から申し上げますと可能だと思っている。このブランドブックは写真家のロブさんという方に、第一弾も第二弾もお願いしている。写真のテイストという意味で言うと、ロブさんに撮ってもらわないと同じようなテイストにはならないと思うが、若者たちの活動をどう発信していくかという点においては、副市長ご指摘のような形も、取組の一つとして考えられると思っている。発信のチャンネルについてもインスタを使うのか、TikTokを使うのか、いろんな手法があると思うが、若者の活動の紹介という点で、ブランドブックに限らずいろんな手法があると考えている。
- ・(森山副市長) ブランドブックが注目を集めているだけに、この流れを取り込めたら、より若者の活躍を発信できるかと思う。
- ・(市長) 先日6つ目の生涯学習プラザ、新しい立花の生涯学習プラザがオープンになり、とうとう6地区のプラザが新設されるというある意味、感無量だったが、エフエム尼崎でもお世話になってきた三宅奈緒子さんが立花のオープンイベントでもコーナーを作って展示会を実施してくれていた。今回、尼ノ國のリニューアルを行うときにも、そういった既存のいろんな蓄積も、もしプラットフォームみたいに繋げられるのであれば、いろんなテイストがあるといいかなという気もする。ブランドブックはやはり若者や、ネットに関心が高いような人たちに訴求力がある気がするが、普通の写真を多く好んできたような年齢層の方に向けても、取組の蓄積はもう既にまちの中にあると思うので、いろんなものがうまく紐づいて、見やすく、繋がりがよくなっているといいかと思う。
- ・(危機管理安全局長) ブランドブックについては掲載されている写真もいいが、写真に添えられている一つ一つのフレーズもすごく上手いと思うが、職員が考えているのか。
- ・(総合政策局長) 情報発信支援業務を委託しているオズマピーアールさんと組みながら作成しているもので、基本的にはオズマピーアールさんに作ってもらっているが、職員も内容は当然チェックし、やりとりをしながら作成している。
- ・(市長) 各局がチラシ等を作るときにオズマピーアールさんからアドバイスをもらえる仕組みがあり、結構浸透してきたかと思うが、今年度はどういう状況か。
- ・(総合政策局長) いわゆる情報発信支援業務については昨年度までで3年を迎えたので、一旦3年間は固定して同じように続けてきたが、今回大きく見直しを行っており、若干回数は減るが、相談室の業務は引き続き実施する。
- ・(市長) やはりキャンペーンの核になるような媒体などについてはアドバイスを受けていただいた方がいいので、あまりにも人気がありすぎて委託料を見直さざるを得ないというときはまた臨機に対応することもありうると思うが、まずはあまり遠慮せずに使っていただくというスタンスでよいか。
- ・(総合政策局長) 確かに回数が減る部分はあるが、ご相談いただける余地はあると思うので遠慮せずに利用いただきたい。全庁で見ればまだ一度も利用していない所属もあるが、一度使っていただければ良さというか、こんなことができるということがわかっただけだと思うので、各局におかれましては一度、広報課にご相談いただき、活用いただければと思う。

- ・（市長）手間はかけなくていいが、例えばアドバイスを受ける前と後で、ビフォーアフターでこんなふうになって、とても良かった、というような事例を庁内に紹介できるような機会があるとイメージがしやすく良いのではないか。
- ・（総合政策局長）その点については掲示板などで、チラシのビフォーアフターをお示ししているのでまたご覧いただければと思う。
- ・（市長）承知した。皆さんぜひご活用いただきたい。

以 上